

# 受章

おめでとうござります

## 春の叙勲

瑞宝小綬章

わたかへつむよし

渡壁積義さん（春日台）



昭和三十六年に笠岡商業高校教諭として赴任。倉敷商業高校教諭、岡山情報処理教育センター所長、岡山市立岡山商業高等学校長、県立岡山商業高等学校校長等を歴任。商業教育の第一人者として教育活動、学校運営に多大な成果をあげ、教育界に貢献されました。

新進気鋭の青年教師として、献身的な情熱を持ち教育に没頭する決意を持って笠岡商業

## 春の褒章

藍綬褒章

片岡愛子さん（笠岡）



高校に赴任しました。伝統校である笠商では教職員が「産業教育の光は西から」を合い言葉に若手教員への指導は厳しくかつ充実していました。笠商の一員であることに誇りを持ち、喜びも悲しみも生徒と共有できる教師になることが「教師道の真髄」であることを心の底から体得してきた青年教師時代でした。

16年間の笠商勤務で特に印象に残っているのは、赴任初年度の担当科目の一つだった「商業英語」では夜も眠れない日々が続いたことや、小型電子計算機を導入し本格的な情報処理教育に取り組んだことです。以後、仕事とその成果は笠商時代の経験があればこそと思っており、生徒諸君、先輩教職員の皆さんに感謝しています。

昭和五十九年三月に保護司の委嘱を受け笠岡分区に配属されてから、民間人としての柔軟性と地域の実情に通じているという特性を生かし更生保護の仕事に従事し、二十三年間活動されてきました。

「何で、私が?!」

「一番ふさわしい人に保護司をお願いしたい。」更生保護婦人会で私の活動を目に留めていた先輩の保護司からの推薦がきっかけでした。委嘱を受けるとき、大先輩から「だまされますよ。だまされる事を覚悟してなさいね。」と教えられました。対象者と調子よくいっていると、ある日突然に再犯される。大変な仕事と承知して

委嘱を受けたのですが、先輩の言葉が思い出されます。しかし、何よりも対象者のことを思い、自己研鑽の日々を続けてきました。往来訪を重ね、優しい心、誠の心で接していると対象者が心を開いてくれるようになり、対話を重ねていきます。そして成績良好で保護観察が解除されると、本当に良かったと対象者と共に喜びをかみしめます。いろいろな人に出会い、出会った人たちの「愛」に支えられてきました。それらの愛は私に優しい心を育んでくれました。皆さんの愛に応えてライフワークとして、「誠の心」で定年を迎えるその日まで保護司の仕事に尽くしたいと思っています。

藍綬褒章

今岡貞子さん（北木島）



昭和三十年十月の国勢調査から、統計調査員として、国勢調査に11回従事し、五十年余りの長きにわたり通算42回の各種統計調査を経験し、その功績が讃えられ、この度藍綬褒章を受章されることになりました。

思いもかけない栄誉ある章をいただき、光栄なことと感謝しています。多くの人から身に余る祝意を頂戴し、あらためて栄誉の大きさを実感しています。

思えば、終戦を北木島で迎え、これまで元気で大きな病気もせず体が丈夫だったことが、多くの統計調査の調査員としてがんばれたことだと思っています。時には、非常に苦勞した調査もありましたが、島の皆さんは知っている人ばかりでその人柄にも助けられる。いろんな調査を経験することができ自分の大きな財産になりました。

最後になりましたが、感謝の意を込めてこれまで多大なる理解と協力をしていただいた北木石材組合の理事長を始め役員、地域の皆さんに厚くお礼申し上げます。